



飼い主 & 動物への分子栄養学的アプローチ

充実した生涯を過ごすためには、人であろうと、動物であろうと健康状態が大きく関わります。

“身体にとって必要な栄養を補うことで、本来の身体の機能を最大限発揮できる”というのが分子栄養学の考えです。

ここ数年で、栄養アプローチはヒトに対する応用から、動物への応用もされるようになってきました。

今回は、臨床の場でご活躍いただいている獣医師の先生方にお話ししていただきます。

また、分子栄養学概論に触れることで、飼い主様の健康管理にもお役立ていただけますと幸いです。



配信期間 2021年11月22日月 ~ 12月26日 日

配信方法 オンデマンド(録画)配信

申込期限 2021年11月15日 月

対象者 動物病院勤務者(獣医師、動物看護師、その他スタッフ)と飼い主様

参加費 無料

お申し込み方法

QRコード、FAX、メール
FAX 03-5778-6381

✉ registration@orthomolecularjapan.co.jp



プログラム

「分子栄養学概論」金子雅希 50分

「様々な病気の予防・治療に分子栄養学アプローチを始めませんか？」廣田順子先生 30分

「分子整合栄養医学医療を取り入れて」鈴木つぼ美先生 30分

「ループス様爪異栄養が疑われた犬に対する栄養アプローチの症例」小関ユミ先生 15分

講師プロフィール

アリスどうぶつクリニック
動物統合医療センター 院長 獣医学博士

廣田 順子 先生

東京農工大学部農獣医学部外科・内科学教室で研究後、動物病院開業。
開業後に複数の教育機関において講師を経て大学教授、次いで日本獣医生命科学大学獣医保健看護学科客員教授となる。
現在は大学を退職し、アリスどうぶつクリニックにて分子栄養療法、統合医療に携わっている。



みなせ動物病院 院長

鈴木つぼ美先生

日本大学(旧農獣医学部獣医学科)卒業後、川崎と茨木の動物病院に勤務後、みなせ動物病院を開院。慢性疾患に対する従来の医療に限界を感じ、オルタナティブメディスンに興味を持ち、統合医療を実践している。



ゆーから動物クリニック 院長

小関ユミ先生

帯広畜産大学 大学院卒業後、動物病院や製薬会社勤務、阪神淡路の震災を経験して、臨床に戻り現在に至る。内科志向であり、現代医療では内分泌疾患、代替医療では、ホメオパシー、中医学と栄養療法を取り入れている。



KYBグループ 代表取締役社長
国士館大学 体育学部体育学研究所 特別研究員

金子雅希

英国でスポーツ栄養科学を専攻し、主にアミノ酸の研究を行う。現在は、KYBグループの代表取締役社長として、著名なプロアスリートから成長期のキッズアスリートまで、従来のスポーツ栄養科学に分子整合栄養学を組み合わせさせた栄養指導を多く手掛ける。

